

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	KID ACADEMY姫路校		公表日		2025年 1月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に合わせ、日々配置を見直し支援を行っております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		こども家庭庁の指定基準を守り運営しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		わかりやすい環境を整備できるように努めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、生活空間を清潔に保てるようにしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		完全に個別で使用できるスペースということではできない状態ではあるが、利用時間の調整等で調整しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		管理者同士や代表、SVとも連携を図りスタッフ間で共有しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		管理者同士、職員へ共有し、課題の把握と改善点を出し業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員一人一人と定期面談を行い、意見等を把握する機会を設けております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者機関による外部評価は行なっておりませんが、KID本部SVとの連携、評価結果を業務改善に繋げております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		随時話し合い、全スタッフのスキルアップを図っています。今後も全スタッフ資質向上の為に努めて参ります。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		お子様の発達段階や保護者様のご要望に応じた適切な支援プログラムの作成、公表に努めております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子様の発達段階や保護者様のご要望に応じ客観的に分析をした上で、適切な個別支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子様の課題を明確にし、1人1人に合わせた支援内容を協議する場も重要視して取り組んでおります。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有され、計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援内容を詳しく記載し、個別ファイルにも保管等して、確認しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインのねらい及び支援内容も踏まえながら、お子様の支援に必要な項目を設定し、具体的な支援に繋がるよう努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの立案をスタッフ間で協議しております。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しない様、毎日スタッフ間で協議しております。今後も固定化しない様強化して参ります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の発達段階や保護者様のご要望に応じて組み立てて頂いております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティングや、モニタリング会議を設定し、全スタッフで共有しております。今後もチームで連携して支援を行なって参ります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎朝、ミーティングする時間を設け支援内容の決定、役割の分担、気づいた点などの共有をしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容を詳しく記載し、個別ファイルに保管しております。また支援が適切に行われたかの検証・改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		お子様の課題を明確にし、1人1人に合わせた支援内容を協議する場として、重要視して取り組んでおります。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		お子様の状況をよく知る者が、他事業所間との意見交換する場に積極的に参加しております。また参加後も職員へ共有する場を設けております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		随時連携体制を見直し、関係機関との連携を強化したいと考えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		マンスリーレポートを作成し、関係機関へ支援内容の情報共有や相互理解を図るよう、努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		連携できる機関や保護者様の要望があれば、支援内容の情報共有と相互理解を図るよう努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて助言を受けられるよう努めております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の中で必要とされた場合は、積極的に機会を設けていきたいと思っております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時の申し送りの際や定期的な面談にて保護者様と意思の疎通を図らせて頂いております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者向け勉強会を開催しております。勉強会の中で保護者様同士の連携が取れるような工夫をしております。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		保護者様にご理解頂ける様時間をかけてご説明させて頂いております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様との面談の機会を設けて意向をお伺いしております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		丁寧に説明をさせていただき、同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		直接的な面談や、お迎え時などの申し送りの際にお伺いし必要な助言をさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者向け勉強会を開催しております。勉強会の中で保護者様同士の連携が取れるような工夫をしております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れがあれば社内で検討し、できる限りの要望に添えるように対応を心掛けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページにてコラム発信、月一回マンスリーレポートを作成し配布しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きロッカー内で保管をさせて頂いております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		直接お話しできない場合は、個別ファイルでの手紙などでやり取りができるよう配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			行事を行なっておりませんが、行事を行う際は、地域の方々を招待するなど、地域に開かれた事業運営を心掛けます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		必要なマニュアルの整備、研修、周知などを行い、訓練を実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		必要なマニュアルの整備、研修、周知などを行い、訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		見学体験時、契約時、面談時などでお子様の状況を確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			食事を含まない支援内容となっております。食事が必要な場合は、把握をし、医療機関様との連携もしっかりと取ってまいりたいと思っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要な計画を作成し、研修や訓練、安全管理が十分になされた中で支援を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時でも家族様との連携が図れるよう緊急連絡網を作成しております。また面談等で周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例と判断した場合は、随時ヒヤリハットを作成し、スタッフ間で協議して再発防止を図っております。今後をお子様が全にご利用して頂ける様努めて参ります。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		人権及び虐待防止について研修を実施しており、全スタッフ間で周知できるよう努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		基本的に行なっておりません。必要な場合は、保護者様に説明を行い了承を得た上で、児童発達支援計画へ記載いたします。		